



神戸学園都市



ワイズメンズクラブ

THE Y'S MENS CLUB OF KOBE GAKUENTOSHI
THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

2020年3月（通巻309号）

< 主題 >

- ・神戸学園都市クラブ会長：杉本隆人：「広げようワイズの和、令（秩序）をもって」
 - ・国際会長：Jennifer Jones(オーストラリア)：「Building today for a better tomorrow」
 - ・アジア太平洋地域会長：田中博之（日本）：「アクション！」
 - ・西日本区理事：戸所岩雄（彦根シャトー）：「風となれ、ひかりとなれ」
 - ・六甲部長：柏原佳子（芦屋）：「スピナーカーの帆に風を集めて」
 - ・2020年3月強調活動：JWF：西野陽一 JWF 管理委員長（大阪高槻）
- 「JWF は皆様の好意によって支えられています。個人やクラブの記念に合わせて献金をお願いします。」

3月第1例会

コロナウイルス感染予防のため休会

< 今月の聖句 >

「イエスは弟子たちに言われた。『だから、言うておく。命のことで何を食べようか、体のことで何を着ようかと思ひ悩むな。』」

（ルカによる福音書 12章 22節）

3月誕生者おめでとう

- ・藤井久子メン（3/4）
- ・中村晶子メネ（3/5）
- ・野呂隆メン（3/10）
- ・田辺千世メネ（3/24）

2月の出席状況

・在籍者	14名
・出席者	12名
・出席率	86%
・メネ/コメ	1名
・西クラブ	6名
・ゲスト	4名
出席者合計	23名

3月累計ファンド成績

・CS(年賀切手)	6,300円
・TOF(断食)	5,880円
・FF(家庭の断食)	3,360円
・BF(古切手)	6,300円
・東日本募金	19,600円
・Yサ・ASF	28,000円

[役員] 会長：杉本隆人、直前会長：田辺征一、書記：田辺征一、会計：中村 剛、連絡主事：達 直樹
[委員] 地域奉仕・環境：森本哲男、Yサ・ユース：内田邦彦、交流：合田純二、ファンド：野呂 隆、丹家元陽、EMC：野呂隆、広報・ブリテン：田辺征一、メネット：藤井久子、杉本裕子、メール委員：田辺征一、
[六甲部役員] メネット事業主査：藤井久子 [IBC]台湾高雄ポートクラブ（2004年1月締結）
[DBC]東京武蔵野多摩クラブ（2011年6月締結） [DBC]岡山クラブ（2018年6月締結）

神戸学園都市クラブ 〒651-2102 神戸市西区学園東町 2-1-3 TEL 078-793-7402 FAX 078-793-7470
事務例会：第1木曜日、第1例会：第3木曜日、クラブホームページ

<http://www.kobeymca.org/ys/gakuen/bulletin.html>

<会長通信第八号>

会長 杉本隆人

現在、世界中でコロナ感染（パンデミック）が拡大しつつあり、ヒステリックなほど過剰反応したり、無視した行動をする国や人々がいますが、その温度差には、本当に驚かされます。日本も一時、終息にむかっていると報道される中で、東京では、患者数が急増し、非常事態宣言も視野にと大変なことになりつつあります。

そんな中、イタリア北部ロンバルディア州ベルガモ司教区にあるカスニーゴの町で司教長を務めていたジュゼッペ・フォレスティリ神父（72歳）がローヴェレの病院でコロナウイルス感染により亡くなったというBBCからのニュースを拝見しました。亡くなった神父は、人工呼吸器を若い人に使ってくださいと言われ、呼吸器を使わず亡くなったそうです。

とても痛ましいニュースでしたが、このニュースに触れたとき思い出したのが、1954年9月26日に発生した洞爺丸事故で亡くなった二人の外国人宣教師のことです。その内の一人は、YMCAから派遣されたディーン・リーパーさんで、彼は、自分の救命胴衣を近くにいた子供に渡し、力尽きて海に沈んでいったそうです。この話を聞いた時の細かい描写は忘れてしまいましたが、殉教されたことに、私は、感謝、感動したことを忘れたことはありません。

新約聖書ヨハネの福音書 15章 13節～15節

「人がその友のためにいのちを捨てるといふ、これよりも大きな愛はだれも持っていません。わたしがあなたがたに命じることをあなたがたが行なうなら、あなたがたはわたしの友です。わたしは、もはや、あなたがたをしもべとは呼びません。しもべは主人のすることを知らないからです。わたしはあなたがたを友と呼びました。なぜなら父から聞いたことをみな、あなたがたに知らせたからです。」アーメン

このような方々に少しでも近づくように、努力したいものと肝に銘じました。

新型コロナなんかには負けへんで。必ず、暗いトンネルの先には出口はあります。

共に、その時を楽しみに頑張りましょう！

<2月合同例会報告>

昨今、企業や自治体などで、世界的な取組みとして急速に注目が集まっている「SDGs」を、公認フェシリータ矢野良晃氏をお招きし、ゲームを通して理

解する場を設けました。

「SDGs(エスディーゼーズ)」とは、2015年に国連が全会一致で採択した「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。「貧困をなくす」「気候変動に具体的な対策を」「産業と技術革新の基盤をつくる」といった17項目と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

ビジネスシーンでは欧米を中心に、「収益と社会貢献・社会課題の解決は対立するものではなく、両立されるべきもの」というコンセプトや理念が広がりつつあり、日本でも環境省や外務省など省庁の動きに続き、経団連の「企業行動憲章」がSDGsを前面に押し出した形で改定されました。また、SDGs達成に向けた優れた取り組みを提案する自治体が「SDGs 未来都市」として選定されるなど、いま急速に注目が集まっているのがこのSDGsです。

参加者を7つのグループに分け、グループごとに目標を与えられ、グループは1つの国や企業、参加者全員は地球と捉えて目標達成するようにゲームを進めていきました。ゲームを進めるにつれ、1グループの取り組みが社会や環境、地球に与える影響が見える形で示され、ゲームを通して「SDGs」の意味意義を考えることができました。

(隠樹圭子)



<バレンタインコンサート報告>

2月16日、さんだクラブ主催の第27回バレンタインコンサートに内田、杉本、田辺が出席しました。今年の出演はマリンバ・デュオ。初めて見る大きなマリンバで高音から低音まで音域が広く、特に低音が印象的でした。

演奏はクラシックから歌謡曲まで多岐にわたり、100名ほどの聴衆は手拍子を打ったり歌ったりと、大いに満足！「テキーラ」の曲では10名ほどが前で打楽器を打ち鳴らし、聴衆も一体となって、「テキーラ！」を楽しみました。



(田辺征一)

<神戸クラブ 90 周年記念例会報告>

2月22日、神戸クラブ 90 周年記念例会に杉本、野呂、田辺が出席しました。西日本区で 2 番目に古い歴史を持つ神戸クラブは YMCA との協働の歩みであったことに今回思いを新たにしました。神戸クラブには特別メネット会員も多く、メネット会として数々の奉仕活動をされてこられ、今回、神戸メネットクラブ設立 55 周年記念例会も併せて行われました。

第 1 部の記念式典では会長挨拶、来賓祝辞につづき、タイ国チェンマイ YMCA 主事ムアンジン・ナルパチャさんから 36 年間の友情と協働の成果に感謝するメッセージがありました。その後、神戸クラブとメネットクラブから神戸 YMCA への記念献金が贈呈されました。



神戸クラブの皆様 “おめでとうございます”

第 2 部では、和琴の演奏、柏原部長の乾杯により懇親会に移りました。おいしい料理と和やかな交流に触れたひと時でした。

コロナの心配がある中、140 名以上の出席があり、盛会でした。神戸クラブの益々の発展をお祈りいたします。(田辺征一)

「エーゲ海クルーズ紀行

ギリシャの休日 11 日間」(第 8 回)

9 月 22 日(土)

今朝も爽やかな風の入るレストランで自作のカスクートとフレッシュジュースを楽しんで、昼間のイアの街の散策へ。全てが白一色の中で、青い小さなドームの教会が本当に美しい。いくつかのビューポイントの 1 つ。とにかく狭い所を 5 人連れの中国人が占領。1 人ずつポーズをとる。終わったかと思うと 2 人ずつ、そして 3 人、4 人と色々なポーズを延々と。世界中のあちこちで見る光景にウンザリ。「主役は景色やろ！」

昼食はバスで少し走った山の頂き近くのレストランで。ビールは yellow と red donkey を頼む。グラスに注いで空になったはずの瓶口をウェイターさんが目を近付けて覗いている。何をしているのかと見てみると、その瓶を急にグルグルと回し、ほんの少し底に残っていたものをグラスに注ぐ。生きた酵母が沈んでいるのだった。これがビールの命との事に納得。まずはガーリックトースト、次にトマトフリッター、ドルマをヨーグルトとキュウリのペーストで爽やかに。メインは細長いミートボールのトマトソース掛け、ライス添え。デザートは蜂蜜たっぷりのスポンジケーキを堪能。そしてサントリーニ島といえばワイン。ここのぶどうは地面に這いつくばった形で育てられていて、近くのワイナリーで 3 種のテスティングをさせて頂いたが、白もかなり个性的であったり、赤はデザートワインの甘さだったのでパス。バスは飛行場へ。PM5:05 オリンピック航空にてアテネへ約 40 分のフライト。27℃。このホテルアテネプラザは街の中心といえるシンタグマ広場の前にあり、左手に国会議事堂が夕日を浴びてベージュ色に輝く。夕食はホテルのレストランで。前菜はギリシャサラダの上に焼いたフェタチーズ(ヤギ)で美味。メインは豚肉のソテーに絶妙なソースがからみ合い、ラタトゥイユとポテトで満腹。勿論、ビールとワインは欠かせない。

デザートはラズベリーでサンドしたチーズケーキでお休みなさい。

9月23日(日)

朝食、久し振りの朝シャン(朝からのシャンパン)に薄切りしたパンにバターを塗りハム、ベーコン、トマト、ハムを重ねた自己流サンドイッチがおいしい。又、このスクランブルエッグとマッシュルームのソテーも病みつきになる。出発までの時間を利用して、ホテル左手の国会議事堂へ。その前には1823年ギリシャ独立戦争を始めとし、その後、国の為に戦死した兵士の墓があり、2人の衛兵が1時間交代、24時間守っている。今日は日曜日。エヴゾナスという白い民族衣装に身を包んで30分毎に左右交代する様子を見物。銃剣を左肩にかつぎ、

ゆっくりと足を前に踏み出し、足首をカクンと上に曲げ、実に優雅な行進。そして午前中の観光に出発。まずはパナティナイコ・スタジアムへ。ここは1896年第1回近代オリンピックが開かれた所で、約5万人収容。トラックは馬蹄型をしていて、2004年のアテネオリンピックの女子マラソンで、野口みずき選手が金メダルのゴールを切った所。次はアドリアノス門のすぐ南にあるゼウス神殿へ。北の丘にそびえるパルテノン神殿に対抗するべく、紀元前515年に着工され、色々な紆余曲折を経て2世紀にローマ皇帝アドリアノスの時代に完成したが、今はコリント式の柱15本が残っている。(つづく)

(丹家元陽)

< 今月の聖句 >

「イエスは弟子たちに言われた。『だから、言うておく。命のことで何を食べようか、体のことで何を着ようかと思ひ悩むな。』」

(ルカによる福音書 12章 22節)

東日本大震災日3.11がやってきます。

この日がくると支援活動で出会った人たちを思い出します。「思ひ悩んだって、何もかわらない。」被災地のおばあちゃんの言葉です。家も財産も全てなくしたおばあちゃんですが、そのことを思ひ悩んでもしかたがない。悩むくらいなら新しいことを始めなきゃと言っておられました。

そのとき私たちの支援も変えなきゃと思ひました。それまでは共に思ひ悩むことが支援だと考えていました。しかし本当の支援は、寄り添いながら新しい一歩を踏み出せるために背中をそっと押すことではないかと。思ひ悩むことに入り込むと、この一歩が出ないのです。思ひ悩みから抜け出す一歩を寄り添いつつ支えるのが支援です。イエスの生き方も同じでした。思ひ悩まない方法は、神を求めることです。自分のことばかり考えているとそこから抜け出せません。しかし神を求めるとき、すべては与えられていることに気がつきます。

西日本区チャプレン立野泰博(熊本ジェーンズ)

西日本区理事通信 2020年3月号から転載